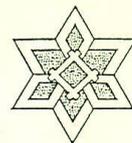


ふくい

舞鶴市立福井小学校

令和7年1月8日発行

(本年度 11号)



2025年

みんなが主役 大作戦！！

3 学期始業式

3学期の始業式を迎えました。年末年始の休業中に静まり返っていた校舎にも、元気な子ども達の声が返ってきました。昨年の正月は大惨事で幕を開けましたが、今年は穏やかな日とで少し暖かく感じました。「令和6年能登半島地震」が発生した能登地域では、1年が経過したものの、大きな傷跡はいたる所に残されています。

504名（災害関連死を含む）の尊い命が失われ、今なお2名の消息が分かっていません。また、その年9月の豪雨災害が追い打ちをかけ、被災者・犠牲者はさらに増える事となりました。家族を亡くし家を失った方々の心中は想像する事も出来ませんが、一日も早く元通りの生活が戻ってくることを願っています。また1995年1月17日に発生した「阪神・淡路大震災」は、今年で30年の節目

をおかえ、各地で式典等が行われる予定と聞いています。当時、下福井のアパートで暮らしていた私は、経験したことがない揺れに驚いて飛び起きました。食器が崩れる程度で済みましたが、その朝はどこで何があったのかははっきりした情報はなく「神戸の方で大きな地震があり大変な事になっているらしい…」程度しか分かりませんでした。とりあえず出勤して、1・2時間目の授業を終え職員室に戻ると、テレビが信じられない惨状を伝えていました。修学旅行で何度となく訪れた街並みが崩れ、高速道路が横倒しになっていました。その後、状況が明らかになるにつれ、想像を絶する被害の大きさに言葉を失いました。「防災の日」は関東大震災に因んで創設されましたが「あの震災」を機に防災対策や防災教育は一気に加速しました。防災に対して科学的な見方が進み、ハード面でもソフト面でも大きく前進しました。阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震…記憶に残る地震だけを挙げてみてもきりがないう程。調べてみると啞然とするほど多くの地震が発生しており、改めて日本は地震大国なのだと感じました。学校でも年間を通じて様々な場合を想定し、避難訓練を実施していますが、福井小学校の子ども達の多くは、訓練に対して真面目に取り組むことができます。ただ静かに行動すると言うだけでなく、的確に自分の身を守る事を考える力が備わっている子が多いです。2学期に抜き打ちの避難訓練を実施しました。ちょうど休み時間だったのですが、放送が鳴るや否や、多くの子どもができるだけ周りに何も無いところで身を屈めて一言も喋らずジッとすること（一次避難）事ができていました。そして二次避難の指示があると、静かに整然と行動する事ができました。もちろんどうしたらよいのか分からない子もいますが、分かっている子が手招きをして避難する様子も見られました。実際に災害が発生するとパニックになる事は必至ですが、そんな中でも訓練で身に付けた力が生かせるのではないかと思います。

いよいよ3学期が始まります。3学期は年度の集大成として、子ども達一人一人の成長が随所に感じられる学期でもあり、その姿に出会える事がとても楽しみです。それぞれが今の学年をしっかりとまとめ次のステップに踏み出すと同時に、みんなが活躍できる学校生活を目指していきます。まさしく「みんなが主役 大作戦！」です。一つ一つの努力が実を結ぶ「乙巳」の年になるよう、保護者や地域の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いたします。

校長 波多野 暢 教職員一同

